

公開シンポジウム「光毒性試験代替法の評価」

厚生科学研究「動物実験代替法の開発と利用に関する調査研究」では Balb/c 3T3 細胞を用い Neutral red 取り込みを指標とする in vitro 光毒性試験代替法 (3T3-NR 光毒性試験法) について代替法専門家による一次評価及び臨床医師、毒性専門家等による二次評価を行って参りました。その結果、かなり良い試験法であり、従来のウサギやラットを用いる試験法にかなり代替しうるとされました。しかし、適用可能な被験物質の範囲や使用する光源によるバラツキの可能性など問題点も残されております。

そこで、学会案内のプログラムにも記載されておりますように、12月5日(木曜日)午後2時より東京の総評会館で公開シンポジウムを開催し、今までの評価結果をご説明するとともに、広い専門分野の方々のご意見をいただきたく、以下の公開シンポジウムを計画いたしました。

3T3-NR 光毒性試験法は OECD で近々採用される予定であり、今後、光毒性評価のために広く使用されることが予想されます。本試験法にどのような特性があるのか理解するよい機会とも思います。

ふるって御参加下さるようお願い申し上げます。

なお、このシンポジウムは日本動物実験代替法学会の最終日の午後に予定されておりますが、代替法学会とは別のもので参加費は無料としておりますが、資料の作成の都合もありますので、下記に事前に申し込みくださるようお願い申し上げます。

日本動物実験代替法学会
光毒性評価委員会委員長
金子豊蔵

問い合わせおよび申し込み先：

国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター
薬理部 大野泰雄
tel: 03-3700-1141,
fax: 03-3707-6950,
e-mail: ohno@nihs.go.jp

第16回日本動物実験代替法学会大会プログラム

2002年12月4日,5日
日本動物実験代替法学会会長 大野泰雄
第16回大会会長 吉村 功

場所: 総評会館(東京) 2階

〒102-0062 千代田区神田駿河台3-2-11 Tel(代表)03-3253-1771
(営団地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」B3出口の階段を上った後、徒歩5秒)
(JR 東京駅より、地下鉄丸の内線利用、淡路町下車、徒歩5分で合計約20分)

参加費:

事前登録(11月15日まで): 会員 5,000円、非会員: 7,000円
事後登録(11月15日以後): 会員 7,000円、非会員: 10,000円
懇親会費 5,000円
振込銀行口座: UFJ銀行飯田橋支店普通口座4717952
口座名義: 代替法学会16回大会吉村功(ダ イバカ ヲカ 16 カイバカ イバカ)

事務局所在地: 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

東京理科大学工学部経営工学科 吉村 功研究室気付
Tel: 03-5228-8350, Fax: 03-3260-5770, Email: aatexedi@ms.kagu.tus.ac.jp

プログラム

12月4日(水)

9:00 ~ 10:00 参加受付, ポスター準備

10:00 ~ 11:00 朝のフォーラム

座長 大野忠夫(理化学研究所)

1) 統計よらず相関: QあればAあり

吉村功(東京理科大学)

2) バリデーション研究の泣き所: 施設間差は実験手技から?

高木弘毅(アベンティス ファーマ)

3) 担当者を泣かせるバリデーション研究:

守って欲しい 数々のポイント 西条薫(理化学研究所)

11:00 ~ 12:30 ポスター討論 (口頭発表を含んだ討論)

12:30 ~ 13:30 昼休み

13:30 ~ 14:20 特別講演

座長 田中憲穂(食品薬品安全センター)

OECDでの代替法採用方針 Dr. Manfred Liebsch

(Expert Consultant to the Secretariat OECD Environment, Health and Safety Division 2,
rue Andre Pascal, 75775 PARIS, Cedex 16, France)

14:20 ~ 14:50 受賞式, 受賞講演(Mr. Anonymous)

座長大野泰雄(日本動物実験代替法学会会長)

14:50 ~ 15:00 休憩

15:00 ~ 17:30 シンポジウム「臓器移植法の改定とヒト組織の研究利用」

オーガナイザー 大野泰雄, 増井 徹 (国立医薬品食品衛生研究所)

- 1) シンポジウムの背景と意図 大野泰雄
- 2) ヒト組織の分類 増井 徹
- 3) 脳死患者臓器の移植利用についての倫理的側面 丸山 英二 (神戸大学大学院)
- 4) ヒト組織の医薬品開発への利用の必要性和現状 堀江徹 (D3 研究会)
- 5) 日本人臓器の研究利用の必要性について: 日本人特異的な SNP とその機能について代謝酵素を材料 小澤正吾 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 6) 臓器移植法改正の現状と対応 日下英司 (厚生労働省臓器移植対策室)
- 7) 政策的課題としての臓器移植法の改正 山本たかし (参議院議員)
- 8) パネル討論

18:00 ~ 20:00 懇親会 総評会館別室

12月5日(木)

9:30 ~ 10:20 第4回国際代替法学会への日本からの派遣発表

座長 板垣宏 (資生堂)

- 1) Study of alternatives to testing for endocrine disruptors in rat whole embryo culture tests 秋田正台 (鎌倉女子大学)
- 2) The use of a perfusion co-culture system consisting of Caco-2 and Hep G2 cell compartments for the kinetic analysis of benzo[a]pyrene toxicity 酒井康行 (東京大学)
- 3) The 2nd validation study in Japan on the modified two-stage transformation assay employing BALB/c 3T3 cells 土屋敏行 (萬有製薬)
- 4) Development of an assay method for predicting tumor promoters using V-Ha-Ras-transfected BALB/c 3T3 cells 大森青美 (神奈川県衛研)
- 5) Estimation method of ET50 scores for three dimensional human skin model 園田巖 (東京理科大学)

10:20 ~ 10:30 休憩 (ゴールドプレゼンテーション賞の投票締切)

10:30 ~ 12:00 フォーラム “動物実験代替法の国際動向”

押し寄せてくる外国の圧力 座長 黒澤 努 (大阪大学)

- 1) OECD が目指しているもの: 最近の動向 豊田英一 (化粧品工業連合会)
- 2) 急性毒性試験の変更について 小野宏 (食品薬品安全センター)
- 3) 第4回国際代替法会議で見られた特徴的な傾向 黒澤 努 (大阪大学)
- 4) 第4回国際代替法会議で見られた使用種動物数と動物種の最近の傾向

松田幸久 (秋田大学)

12:00 ~ 13:00 総会

13:00 ~ 14:00 昼休み

14:00 ~ 17:00 公開シンポジウム

「Balb/c 3T3 細胞を用い ニュートラルレッド取り込みを指標とした光毒性試験代替法の評価」

座長 大野泰雄

- 1) イントロダクション 大野泰雄 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 2) EU/COLIPA のバリデーション結果の信頼性と in vivo 光毒性試験結果との対応性についての評価結果
畑尾正人 (資生堂)
- 3) 試験プロトコールの提案 田中憲穂 (食品薬品安全センター)
- 4) ヨーロッパ光毒性の現状 Horst Spielmann (ZEBET)
- 5) 臨床医師からのコメント 戸倉新樹 (産業医科大学)
- 6) 質疑応答
- 7) まとめ

ポスター発表:

P21	土屋敏行 他	TF-MC ワーキンググループ (非変異・がん原性物質への対策研究会)	BALB/c 3T3 細胞を用いる改良形遺伝毒性試験の有用性評価: 第2回共同研究報告
P22	大森清美 他	神奈川県衛生研究所	発がんプロモーター簡易検出法 Bhas assay の開発・応用と研究室間バリデーション・スタディー
P23	秋田正治 他	鎌倉女子大 他	Study of alternatives to testing for Endocrine disrupters in rat whole embryo cultures
P24	秋田正治 横山篤 清水茂一 野崎善弘 黒田行昭	鎌倉女子大	ラット培養胎児における低濃度ビスフェノールAの影響 - 長時間培養における組織学的検討 -
P25	秋田正治 横山篤 黒 田行昭	鎌倉女子大学	ラット培養胎児における難燃剤テロラプロモビスフェノールAの影響
P26	宇佐見誠 大野泰雄	国立医薬品食品衛生研究所	培養ラット胚における補体成分C3の胚栄養因子活性と膜受容体との結合に関する研究
P27	小島肇夫 他	日本メナード化粧品	皮膚刺激試験代替キット TESTSKIN™ の施設間評価
P28	園田巖 小 島肇夫 吉 村功	東京理科大学工学部, メナード化粧品総合研究所	3次元ヒト皮膚モデルにおける皮膚刺激性を評価するためのET50値推定法

P29	角野啓治 岡崎康夫 倉野晃司	牛乳石鹸共進社総合 研究所	再構築ヒト表皮モデル (human skin equivalent ; HSE) を用いた界面活性剤の刺激性評価：接触角による界面活性剤浸透量の測定
P30	穂谷昌利, 森眞輝, 杉 山真理子, 板垣宏	資生堂 安全性分析 センター	酵母光生育阻害試験および赤血球光容血試験における光源の影響
P31	佐藤真理 大森崇 吉 村功	東京理科大学工学研 究科, 国立医薬品食 品衛生研究所, 東京 理科大学工学部	光毒性試験代替法におけるカットオフ値の決定のための一検討
P32	若栗忍, 田 中憲徳	食品薬品安全センタ ー	代謝毒性による化学物質の簡易細胞毒性試験
P33	酒井康行 福田理 迫 田章義	東京大学生産技術研 究所	臓器間相互作用評価のためのモデル小腸膜・肝組織複合 灌流培養システムの開発と評価
P34	高橋秀和 山口達哉 石橋卓也	東洋紡織バイオ 研究所	新規な3次元培養ラット肝細胞の開発
P35	上埜文武 今井弘一 長屋和也 川本達雄	大阪歯科大学・矯正, 同・歯理工	フッ素塗布剤光重合型歯科矯正用接着材の3次元培養法 を用いた細胞毒性試験
P36	杉山隆 吉山友二 斉藤嘉鶴 土本寛二	北里大・薬・病態解 析部門, 共立薬大・ 臨床薬学教室, 北里 研究所病院	ニワトリ胚を用いた薬効・毒性評価(15) 抗不整脈薬 間の薬物相互作用
P37	杉山隆 吉山友二 斉藤嘉鶴 土本寛二	北里大・薬・病態解 析部門, 共立薬大・ 臨床薬学教室, 北里 研究所病院	ニワトリ胚を用いた薬効・毒性評価(16) 抗不整脈薬 の時間薬理学的研究
P38	杉山隆 小川弓奈 斉藤嘉鶴 吉山友二 土本寛二	北里大・薬・病態解 析部門, 北里研究所 病院, 共立薬大・臨 床薬学教室	ニワトリ胚を用いた薬効・毒性評価(17) Non-cardiovascular drugs のQT 延長に関する研究
P39	高木弘毅他	アベンティスファ ーマ	バリデーション研究の立ち所 施設間差は実験手技か ら?

P40	西山智 土 屋敏行 吉 村功 梅田 誠 19 共同 研究機関	東京理科大学, 萬有 製薬, 食品薬品安全 センター	多重比較法を用いた2段階薬物研究費削減のための3段階検定法
P41	関沢純 大屋幸江	国立医薬品食品衛生 研究所	実験動物における吸入急性毒性値の他経路急性毒性値からの予測
P43	深瀬雅一	東京都立衛生研究所 毒性部	薬物動態予測プログラムの開発とその応用(4) 複雑に変化する薬物投与計画に対応
P44	足利太可雄 上月裕一 穂谷昌利 板垣宏	資生堂安全性分析セ ンター安全性研究所	経皮吸収予測式の開発と化粧品原料の感作性ポテンシャルの予測への応用

平成13年度日本動物実験代替法学会会計報告

小島 肇夫

収入(円)			支出(円)		
項目	執行額	2001年度予算	項目	執行額	2001年度予算
繰越金	4,850,299	4,000,000	特別事業		
			研究助成	1,501,155	1,000,000
年会費収入			論文賞	117,183	200,000
01年度 296名					
その他 24名	1,600,000				
海外会員 3名	25,329		大会開催補助	1,000,525	1,000,000
計5,000円×323名	1,625,329	1,800,000	共同研究特別経費	0	500,000
新入会費収入			編集関連費用		2,500,000
2,000円×28名	56,000	50,000	学会誌発行費用	1,613,951	
			ニュースレター発行費用	368,445	
賛助会費収入			編集事務機器	0	
特別賛助会員					
1,000,000円×2口	2,000,000	3,000,000	国際学会関係		0
500,000円×2口	1,000,000		寄付金	0	
一般賛助会員			宣伝費	0	
50,000円×9口	450,000	500,000	参加補助	50,000	
法人会員			将来基金	0	
50,000円×12口	600,000	500,000			
計	4,050,000		各委員会費用		200,000
			企画委員会	6,000	
雑収入			広報・国際交流委員会	277,630	
別刷助成代	120,750	30,000	規約検討委員会	0	
広告収入	0	500,000	財務委員会	0	
大会から返金	102,300				
図書館費	6,000		学会運営費用		
銀行利子	1,627	20,000	会議費	25,987	50,000
			旅費・交通費	26,960	100,000
			庶務雑費	0	50,000
			会誌採筆支出	1,995	5,000
			学会事務局費用	1,060,580	1,200,000
			予備費	4,761,894	3,595,000

合計	10,812,305	10,400,000	合計	10,812,305	10,400,000
----	------------	------------	----	------------	------------

学会資産

項目	執行額(円)	内訳
国際会議用基金	6,037,058	(97年度分、利子を含む)
	4,010,582	(98年度分)
	0	(1999～2001年度)
合計	10,047,640	

平成14年度日本動物実験代替法学会研究助成

企画委員会 金子豊蔵

日本動物実験代替法学会 平成14年度研究助成は、以下のお二人の先生におくられることが決まりました。大野泰雄会長からすでに確認をいたしておりますが、採択された2名とも申請額どおり認められましたのでご報告申し上げます。

1. 共立薬科大学臨床薬学講座 吉山 友二先生
代替実験動物における抗悪性腫瘍薬の薬物相互作用学的検討
52万円
2. (財)食品薬品安全センター 秦野研究所 細胞毒性学研究室
津田 弘久先生
ES細胞を用いたHPRT 遺伝子突然変異検出系の確立
100万円

日本動物実験代替法学会論文賞選考結果

選考委員会委員長 大野泰雄

動物実験代替法学会論文賞選考内規に従って組織された選考委員会において、平成14年度の論文賞受賞者として城西大学薬学部渡邊哲也氏らの論文”Utility of the three-dementional cultured human skin model as a tool to evaluate skin permeation of drugs (AATEX 8(1), 1-14, 2001)”が選考されたので報告いたします。なお、選考の経緯は以下のとおり。

選考経緯

- 1) 企画委員会より推薦された選考委員会候補から、大野学会長が今年度の論文賞選考委員会委員として大野泰雄(国立衛研)、小島 肇(日本メナード化粧品)、黒田行昭(遺伝研)、佐藤温重(宇宙開発事業団)、吉村 功(理科大)を指名。大野が選考委員長に選任された。
- 2) 委員長より評価用紙案を委員に配布され、委員により確認および修正された。
- 3) 委員より事前評価結果が大野に送付された。
- 4) 平成14年11月6日国立医薬品食品衛生研究所において選考委員会が開催された。参加者は大野、小島、黒田、吉村の4人。
- 5) 委員会ではまず選考対象論文について検討し、2001年度AATEX掲載のオリジナル論文および総説を選考対象とすること、およびアブストラクト類は対象としないことを確認した。また、選考対象者が学会員に限られていることを確認。
- 6) 選考委員毎に論文の1)論文の科学的妥当性、2)内容の新規性、3)オリジナリティー、4)学会の目的への合致性、5)重要性、6)代替法へのインパクト、7)結果の有用性について5段階評価を行い、それらをもとに総合評価を行った。
- 7) 委員毎の採点結果を集計し、上位2論文の内容について検討を加え、最終評価を行った。その結果、人工皮膚3次元モデルが薬物等の皮膚透過性研究に利用できることを多面的に示した渡邊ら論文(Utility of the Three-Dimensional Cultured Human Skin Model as a Tool to Evaluate Skin Permeation of Drugs. AATEX 8(1), 1-14, 2001)が平成14年度論文賞として適当とされた。
- 8) 委員長は選考結果を会長に報告するとともに、メールでの評議員会を開催し、承認された。
- 9) 受賞式と受賞者講演は12月4日(水曜日)に開催される。

以上

平成14年11月15日

選考委員会委員長
国立医薬品食品衛生研究所

日本動物実験代替法学会事務局：

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-4 浅井ビル 501 号室
学会事務局

TEL：03-3811-3666, FAX：03-3811-0676

学会ホ - ムペ - ジ：

<http://hayato.med.osaka-u.ac.jp/index/societies-j/alt.html>

発行：日本動物実験代替法学会

会長：大野 泰雄

編集委員長：吉村 功

ニュー - スレタ - 担当：金子 豊蔵

100176 北京市経済技術開発区宏達中路甲 8 号
中国医薬品安全性評価管理センター内

TEL：+86-10-6787-6252, FAX：+86-10-6787-6253

E-mail：kanekojc@public3.bta.net.cn